

タスク・シフト／シェアについて

1. 取り組みの背景

近年、医療現場では医師の長時間労働が問題となっており、厚生労働省を中心に「医師の働き方改革」が進められています。医療の質と安全を守りながら、持続可能な医療提供体制を確保するために、医師以外の関係職員が担える業務を、適切に分担する仕組みが求められています。

当院でも、看護師や薬剤師等コメディカルだけでなく事務職員も含めた多職種が協力し、専門性に応じて業務を分担（タスクシフト）・共同で実施（タスクシェア）する取り組みを進めています。

2. タスクシフト／タスクシェアとは

- ・タスクシフト：医師が行っていた業務の一部を、資格や研修を受けた他職種が担当すること
- ・タスクシェア：医師と他職種が業務を分担しながら共同で行うこと

これらは、医療の質と安全の向上や、医師の長時間労働の改善、チーム医療の推進などを目的としています。

3. 業務分担の実施について

タスク・シフト／シェアにより、診療の一部を医師以外の職員が担当する場合があります。例えば、問診や説明の一部、検査前の確認、医師の指示に基づく処置の補助、画像検査・生理検査の実施などです。いずれも法令に基づき、適切な研修を受けた職員が医師の指示のもと担当していますので、どうぞ安心してお任せください。

4. 医療安全のための取り組み

当院では、以下の体制を整えたうえで業務分担を行っています。

- ・法令・ガイドラインに基づく業務範囲の遵守（医師法、保健師助産師看護師法など）
- ・必要な研修を修了した職員が担当
- ・医師による適切な指示・確認体制の確保
- ・業務手順書の整備と定期的な見直し
- ・安全性を最優先としたリスク管理

患者さまの診療に影響が出ないように、適正に運用しています。

タスクシフト／タスクシェアは、患者さまに安全で質の高い医療を継続して提供するための取り組みです。ご不明な点等がありましたら、遠慮なく事務局にお尋ねください。